

平成 29 年度墨田区立業平小学校経営報告書

平成 30 年 2 月 28 日

学 校 目 標	独 学 自 修
目 指 す 学 校 像	子どもの学びを大切にして、確かな学力を育てる学校 歴史と新しさが共存する学校 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校 保護者・地域との連携を大切にする学校
目 指 す 子 供 像	・進んで学ぶ子 ・優しい子 ・元気な子
目 指 す 教 師 像	教育に対する熱意と使命感をもつ教師 豊かな人間性と思いやりのある教師 子ども一人ひとりの良さや可能性を引き出す教師 責任感と協調性を有し、互いに高めあう教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を重点とした授業改善を進め、定着を確かなものにする。(東京ベーシックドリル活用し、前後期2回の振り返りに利用する) ICT機器を活用した授業を実施児童の理解を高める。 	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の取り出し指導と放課後習教室を実施する。 校内委員会を開催し、学年ごとに児童理解を行い、共通理解を深める。 	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 外部人材を活用し、社会で役立つという意識を育成する。 人間関係形成能力・情報活用能力を養う。 	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動を中心とした国際理解教育の推進。 指導教諭の模範授業を活用した校内研修会の実施。 若手教員を対象とした「業平ゼミナール」を開催する。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も児童側の思考に沿った授業展開を行うべく、授業力向上に励んでほしい。細かなことではあるが、板書の構成、チョークの色使い(色覚への配慮)等ユニバーサルの視点や人権上の視点での配慮を行っていく必要がある。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導朝会、生活指導研修会の充実を図る。 いじめ防止公開授業を行う。 	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 業平ルールの定着を図る。 道徳授業地区公開講座の充実。 	B	A

様式 4

等	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内外の環境を整備する。 安全教育について保護者への理解を深める。 	B	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事毎のアンケートを実施する。 保護者会、個人面談の内容を工夫し、充実した話し合いができる会にする。 	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 多くの特色ある教育活動や学校行事について、積極的に取り組み、保護者から見ても安心して通わすことの出来る学校となっている。 学校が育てたい児童像を具体的に示し、家庭や地域に働きかけ、「チーム業平」としての学校教育を盛り上げようとする PTA や地域町会との協働活動に成果が出ている。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 4 級職 4 名を中心に組織の機動性を最優先した運営組織を作る。 	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「進んで学ぶ子」を重点目標とし、その定着を図る。 	B	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理（特に不審者やアレルギーによるアナフィラキシー対応）のため、インターフォンを設置する。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 校長の経営方針が教職員一人一人に確実に浸透していると感じた。若手教員を「強み」として捉え、日々の教育活動の中で成長させていく方策が成果として表れている。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> HP や学校・学年・学級だよりでの情報発信を充実させる。 	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> PTA 行事への職員の参加と協力を強化する。 GT や図書 V の授業協力を推進する。 	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 「いきいき貯金」は、保護者も加わった取組で、家庭への意識啓発にもつながっている。 教師は、この地域のバックアップ体制の素晴らしさをしっかり受け止めてほしい。 		

様式4

2 平成29年度学校評価のまとめ

・100周年を契機に、PTAも同窓生も、そして地域全体が、業平小学校の今を好意的に見つめているのが良い。一人一人の教師の努力の様子も受け止められ、若い教師も保護者の温かい支援により、のびのびと実践活動に取り組んでいる。・学校が取り組む、学力・体力向上に向けた取組をはじめ、子供達が生き生きと活動する諸行事やオリパラ教育やアクティブライフ教育、スカイツリーにやってくる外国人に対する英語によるインタビュー活動等に対しても、地域は全面的なバックアップ体制を取ってくれている。・教師は、この地域のバックアップ体制

以上の通り報告いたします。

墨田区立業平小学校 校長

瀬戸 英一

